

ミニ・ディスクロージャー誌

平成25年3月期 営業のご報告

KIYO

FINANCIAL GROUP



株式会社紀陽ホールディングス
株式会社 紀陽銀行

目次

■ ごあいさつ	1
■ 第3次中期経営計画	2
■ 業績ハイライト	3
■ 地域密着型金融の取り組み	6
■ トピックス	8
■ CSR活動	10
■ 財務諸表	14
■ ネットワーク	16
■ 株式情報	17

株式会社 紀陽ホールディングス

設 立 日 平成18年2月1日
所 在 地 和歌山市本町1丁目35番地
資 本 金 583億50百万円
事 業 の 内 容 銀行等子会社の経営管理、
ならびにそれらに附帯する業務
上場証券取引所 東証第一部

株式会社 紀陽銀行

設 立 日 明治28年5月2日
所 在 地 和歌山市本町1丁目35番地
資 本 金 800億96百万円
店 舗 数 107店（和歌山県68カ店、大阪府36カ店）
（奈良県2カ店、東京都1カ店）
従 業 員 数 2,242名（出向者を除く）

※平成25年3月31日現在

※本冊子に記載している計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

KIYO FINANCIAL GROUP

紀陽フィナンシャルグループ



※平成25年3月31日現在

全国銀行協会相談室について

全国銀行協会相談室は、銀行に関する様々なご相談やご照会、銀行
に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口として、一般社団法人
全国銀行協会が運営しております。ご相談・ご照会は無料です。
詳しくは、一般社団法人全国銀行協会のホームページ

<http://www.zenginkyo.or.jp/adr/> をご参照ください。

銀行とのトラブルがなかなか解決しないお客さまは「あっせん
委員会」をご利用いただけます。

詳しくは、全国銀行協会相談室にお尋ねください。

電話番号 **0570-017109** または **03-5252-3772**

受付時間 9:00～17:00（銀行窓口休業日を除く）

※一般社団法人全国銀行協会は銀行法および農林中央金庫法上の指定紛争解決機関です。

ごあいさつ

皆さまには平素より紀陽銀行をはじめ紀陽フィナンシャルグループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび「平成25年3月期 ミニ・ディスクロージャー誌」を作成いたしました。業績や第3次中期経営計画の概要、また、最近の取り組み状況などをまとめておりますので、ご一読いただければ幸いに存じます。

昨年度のわが国経済は震災復興需要などによる下支えが見られたものの、長引く欧州債務危機による世界景気の減速などから、依然厳しい状況が続きました。9月以降には日中関係の悪化による中国向け輸出の大幅減少などを受けて生産や個人消費に弱い動きが見られましたが、12月の政権交代以降、経済対策や金融政策などの期待感から円高の是正や株価の上昇など明るい兆しが見られるようになりました。

当社グループの主要な営業エリアである和歌山県・大阪府においても、年度前半は円高や原料高、電力不足などの影響により持ち直しに向けた動きに足踏み感が見られ、後半は世界経済の減速などから生産や個人消費に弱含みの動きが続きました。その後、円安・株高への反転を受け、持ち直しの動きも見られるようになりましたが、特に和歌山県内においては企業景況感の改善は一部に留まり、総じて横這いとなっております。

このような中、当社グループは平成24年4月より第3次中期経営計画をスタートさせ、「お客さまから選ばれ続ける銀行」を目指すという方針のもと、お客さまの利便性向上に努め、業績の向上に取り組んでまいりました。昨年度の業績につきましては預金・貸出金とも残高が順調に増加するとともに、損益面では債券関係損益が大幅に増加し、与信関連費用の減少もあって、当初計画を上回る利益を計上することができました。しかしながら、貸出金利回りの低下傾向は続いており、本業の収益環境は厳しい状況が続いております。

今回の当社定時株主総会において、自己株式(優先株式)取得枠の設定につきましてご承認いただきましたので、残る公的資金を全額完済するため、関係当局と協議を行いながら、適切に資本施策を遂行してまいります。また、紀陽銀行を存続会社とした当社との合併契約につきましても、株主総会においてご承認いただきましたので、平成25年10月1日を合併予定日として準備を進めてまいります。10月1日には当社に代わって紀陽銀行が東京証券取引所市場第1部に株式上場する予定であります。これからも、地域経済の活性化に貢献できるような様々な金融サービスの提供に取り組んでまいりますので、皆さまには引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



取締役社長 片山博臣

平成25年6月

第3次中期経営計画

平成24年4月より第3次中期経営計画をスタートしております。「大阪府南部から和歌山県にかけて強固な営業基盤を有するトップ地銀」となるように、営業基盤である地元経済の成長を促す「強力なリレバン活動」を推進してまいります。

紀陽銀行の基本方針

目指すべき銀行像

「お客様から選ばれ続ける銀行」

お客様の満足を第一とする心（ハート）を大切に、お客様の良き相談相手として知恵（ブレイン）を絞り、汗をかき行動する（アクション）銀行を目指します。

第3次中期経営計画における主要テーマ

「大阪府南部から和歌山県に強固な営業基盤を有する地域のトップ地銀」への着実な変身

公的資金完済とその後の安定的な内部留保蓄積を可能とする収益力の確保

地域内での存在感を高め、営業基盤である地元経済の成長を促す「強力なリレバン推進」

主要戦略

- ①大阪府南部を中心とした営業基盤の強化
- ②顧客満足度向上に向けた営業体制の変革
- ③経営管理態勢の強化
- ④CSR活動推進等による存在感の向上

紀陽銀行単体		平成24年 3月期	実績	平成25年 3月期	実績	前期比	第3次中期経営計画 平成27年3月期	計画
規模	預金等期末残高	3兆5,155億円		3兆5,991億円		836億円	3兆6,000億円以上	
	うち個人＋一般法人の残高	3兆3,176億円		3兆3,909億円		733億円	3兆4,500億円以上	
	貸出金期末残高	2兆5,462億円		2兆5,828億円		366億円	2兆6,000億円以上	
	うちローン残高	8,988億円		8,884億円		△104億円	9,300億円以上	
	投資信託期末残高	1,538億円		1,687億円		149億円	1,850億円以上	
収益性	コア業務純益	190億円		181億円		△9億円	200億円以上	
	コア業務純益ROA(コア業務純益÷総資産期中平均残高)	0.50%		0.47%		△0.03%	0.50%以上	
効率性	OHR(経費÷業務粗利益)	65.51%		57.51%		△8.00%	65%程度	
健全性	不良債権比率	3.58%		3.50%		△0.08%	3.5%未満	
紀陽ホールディングス連結		平成24年 3月期	実績	平成25年 3月期	実績	前期比	第3次中期経営計画 平成27年3月期	計画
収益性	当期純利益	76億円		181億円		105億円	90億円以上	
健全性	自己資本比率	11.63%		11.14%		△0.49%	11%程度 ^(※)	
	Tier 比率	9.00%		8.84%		△0.16%	8%以上 ^(※)	

※自己資本比率、Tier 比率とも平成27年3月期計画は公的資金完済後の現行規制ベースの値。

業績ハイライト

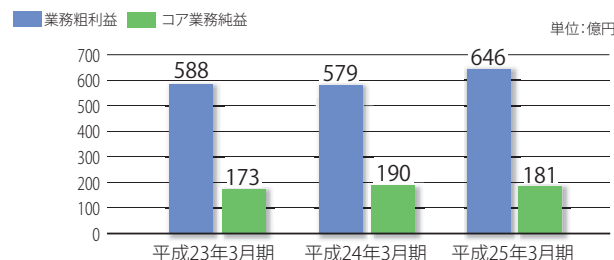
紀陽ホールディングス（連結）で、連結経常利益は前期比125億円増加の272億円となり、連結当期純利益は前期比105億円増加の181億円となりました。

損益の状況

紀陽銀行 単体

■業務粗利益・コア業務純益

貸出金利息は市場金利の低下の影響を受けて減少しましたが、国債の売却等による債券関係損益を前期比83億円増加の93億円計上したため、業務粗利益は前期比67億円増加し、646億円となりました。また、コア業務純益は前期比9億円減少の181億円となりました。



※コア業務純益とは

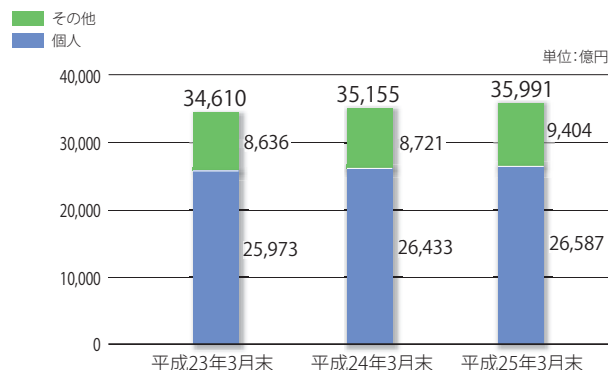
「業務粗利益」から「経費」「債券関係損益」等を控除したものが「コア業務純益」となります。

預金等の状況

紀陽銀行 単体

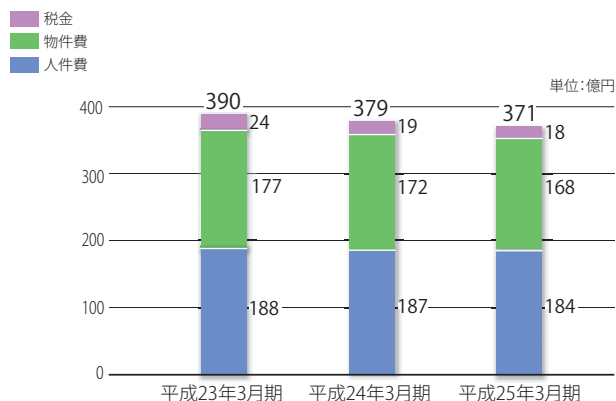
■預金等残高

預金等残高は個人預金とその他預金ともに増加し、前期末比836億円増加の3兆5,991億円となりました。



■経費

経費削減に努めました結果、経費全体では預金保険料の返戻もあり、前期比8億円の減少となりました。

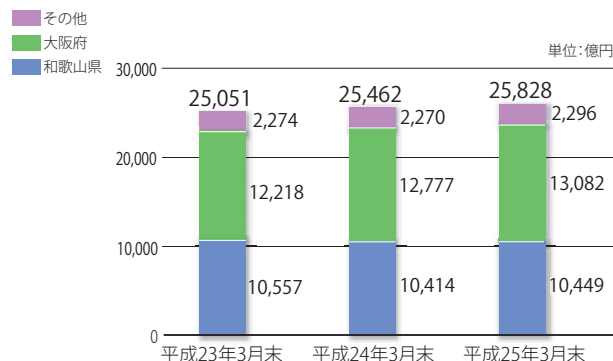


貸出金の状況

紀陽銀行 単体

■貸出金残高

事業性貸出が順調に増加したことから、貸出金残高は、前期末比366億円増加の2兆5,828億円となりました。



業績ハイライト

自己資本比率

平成25年3月末の紀陽ホールディングス連結の自己資本額は、公的資金一部返済による資本剰余金の減少などにより、前期末比50億円減少の2,028億円となりました。

また、子銀行の紀陽銀行で貸出金が順調に増加したこと等により、連結のリスクアセットは前期末比338億円増加しました。

この結果、紀陽ホールディングス連結自己資本比率（第二基準）は、前期末比0.49%減少の11.14%となりました。

なお、紀陽銀行単体の自己資本比率（国内基準）は、前期末比0.48%減少し、10.42%となりました。

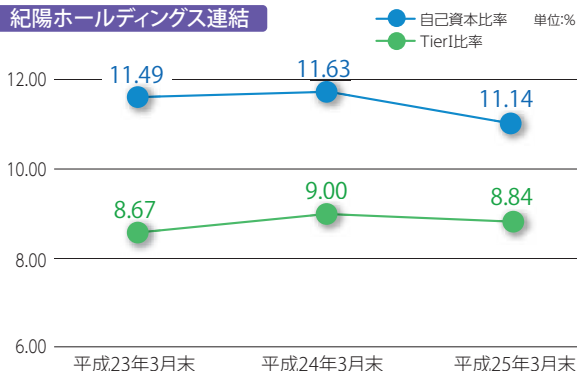
※第二基準とは、海外営業拠点を持たない銀行持株会社の基準です。

国内基準とは、海外営業拠点を有しない銀行の基準です。

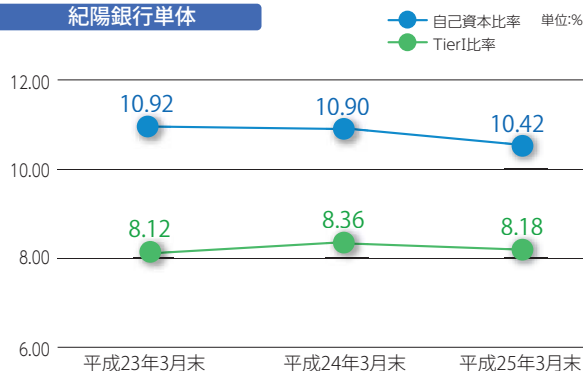
	自己資本比率	自己資本額			リスクアセット
			TierⅠ	TierⅡ	
紀陽ホールディングス 連結	11.14% (△0.49%)	2,028億円 (△50億円)	1,609億円 (+0億円)	418億円 (△50億円)	18,200億円 (+338億円)
紀陽銀行 単体	10.42% (△0.48%)	1,885億円 (△52億円)	1,481億円 (△4億円)	404億円 (△47億円)	18,094億円 (+328億円)

※（ ）内は平成24年3月末対比

紀陽ホールディングス連結



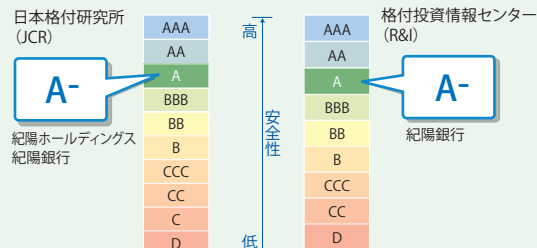
紀陽銀行単体



格付の取得

「格付」とは、第三者の格付機関が、銀行や企業などの「安全度」をランク付けしたものです。

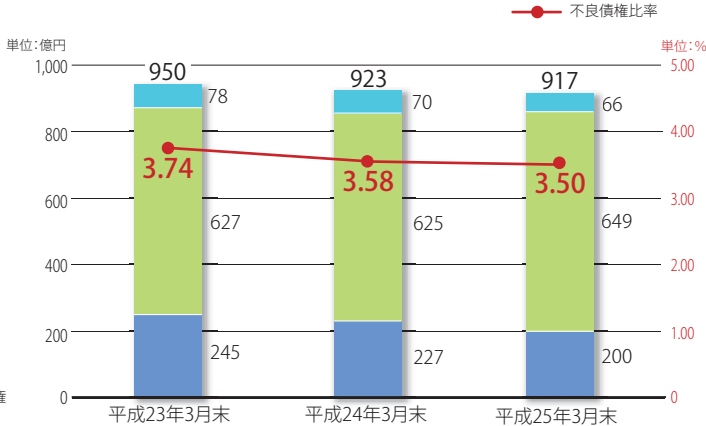
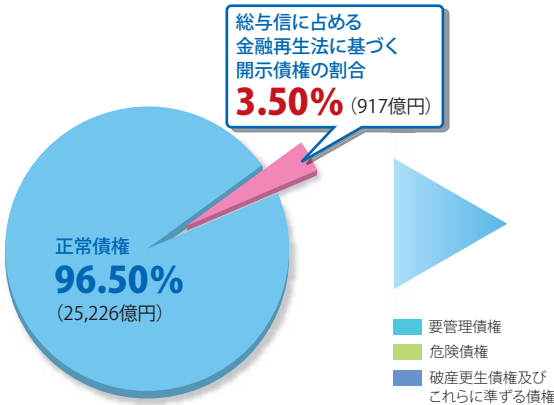
紀陽ホールディングスおよび紀陽銀行では、株式会社日本格付研究所（JCR）と株式会社格付投資情報センター（R&I）から、格付の上位に位置する「A-」を取得しています。



不良債権（金融再生法開示債権）

紀陽銀行 単体

不良債権残高は前期末比6億円減少し、917億円となりました。不良債権比率については、引き続きお取引先の事業再生や経営改善支援への取り組み強化を行っており、前期末比0.08%低下の3.50%となりました。



■不良債権の保全状況

平成25年3月末の不良債権総額917億円のうち84.4%は担保や引当金などで保全されております。

単位:億円

	債権額(※)	保全額		保全率
		担保・保証等	引当額	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	200	187	13	100.0%
危険債権	649	418	117	82.5%
要管理債権	66	29	7	56.5%
合計	917	635	139	84.4%

(※) 貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、貸付有価証券、仮払金等の合計。

なお、銀行保証付私募債については「金融商品に関する会計基準」の適用に伴い、貸借対照表計上額(時価)にて表示しております。

用語解説

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

●危険債権

債務者は経営破綻の状態に至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権

●要管理債権

3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

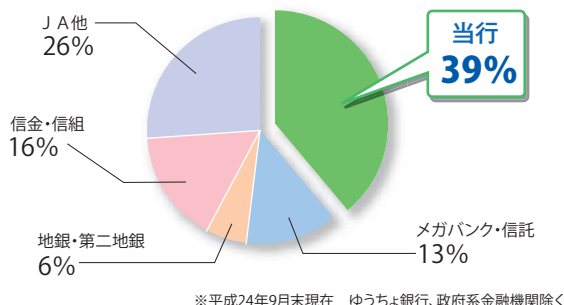
地域密着型金融の取り組み ～預金・貸出金の状況～

現在、和歌山県内に68店舗、大阪府内に36店舗を配置し、両府県を主要な営業基盤としております。地域金融機関として、多くのお客さまによりきめ細やかな対応とサービスを提供し、地域の皆さまの貯蓄・資産運用に関するニーズにお応えするとともに、企業や個人事業主の皆さまの資金需要に対し、円滑な資金のご提供に努めております。

預金・貸出金の和歌山県内シェア

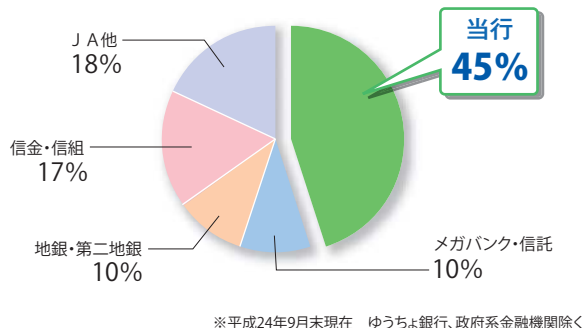
和歌山県では預金、貸出金ともにトップシェアを維持しており、これから地域のリーディングバンクとして地域の発展に向け、ますます重要な役割を果たせるよう努めてまいります。

■和歌山県内預金シェア



また、大阪府においても預金・貸出金とも順調に増加しており、より一層有力な地元銀行として認めていただけるよう営業体制の強化をすすめてまいります。

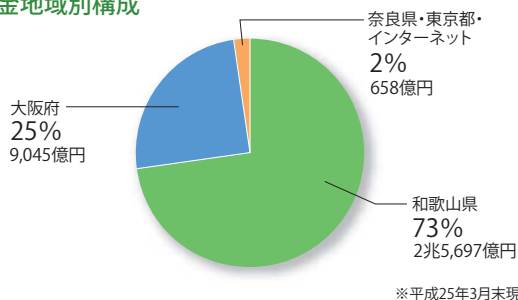
■和歌山県内貸出金シェア



預金・貸出金の地域別構成

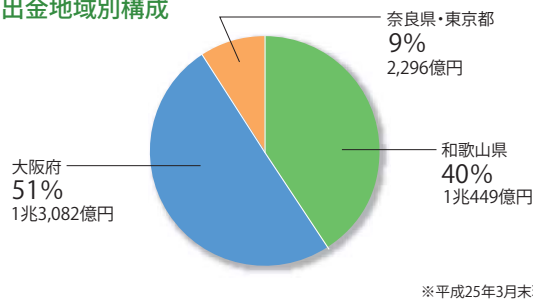
平成25年3月末の総預金残高（譲渡性預金を除く）3兆5,400億円のうち、98%の3兆4,742億円を和歌山県、大阪府の店舗にてお預かりしております。

■預金地域別構成



貸出金につきましても、和歌山県、大阪府の店舗での貸出金残高は2兆3,532億円となっており、総貸出金残高の91%を占めております。

■貸出金地域別構成



経営サポート態勢

■ビジネス活動のお手伝い

お取引先の経営課題解決に向けたお手伝いや成長支援、またお客さまの利便性向上に向けた地域密着型金融の推進に取り組んでいます。

●ピクシス営業室

外部専門家、外部機関などと連携し、地元企業の皆さまの様々なニーズにお応えするために「ピクシス営業室」を設置しております。経営戦略や事業承継をはじめとした資本政策などの経営課題をお客さまと共有し、解決に向けた情報のご提供やご提案を行っております。



グローバル・サポート・デスク

■経営改善のお手伝い

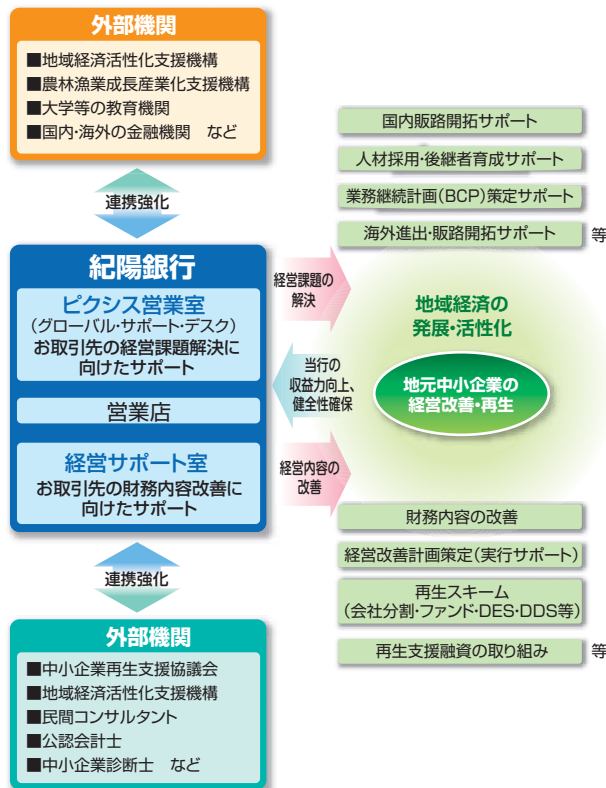
経営環境の低迷が続く中、お客さまとのコミュニケーションをより深めることにより、財務内容の改善や適正な事業運営に向けた経営改善計画の策定についてお手伝いしています。

●経営サポート室

経営内容の改善に取り組まれているお客さまの改善計画策定や財務内容の改善に向けたお手伝いをするため、経営サポート室を設置しております。お客さまにふさわしい改善方法をご提案できるよう、営業店と一体となって取り組んでいます。



経営サポート室



中小企業金融円滑化法期限到来後の対応方針について

中小企業金融円滑化法の期限到来後においても、紀陽銀行の金融円滑化に向けた基本方針は変わりません。

紀陽銀行では、地域金融の円滑化は最も重要な社会的役割のひとつであると認識し、金融仲介機能を最大限に発揮するよう、かねてより積極的に取り組んでまいりました。

また、中小企業金融円滑化法の主旨を踏まえ、平成22年1月には中小企業者等に対する金融の円滑化に関する基本方針を制定し、よりきめ細やかな対応を行うとともに、こうした取組姿勢をお客さまにご理解いただき、安心してお取引をいただけるよう努めてまいりました。

この中小企業金融円滑化法は平成25年3月末をもって期限を迎えましたが、法期限到来後も金融円滑化に向けた基本方針は何ら変わるものではありません。

これまでどおり、お客さまからの経営課題や資金繰り等のご相談に対しては、ご要望を真摯にお伺いし、丁寧な対応に努めてまいりますので、どうぞお気軽にお取引の本支店へご相談ください。

2012 **10**月 **Oct.**

「中小企業経営者のための事業承継セミナー」の開催

10月17日、フォルテワジマにおいて、和歌山県、和歌山商工会議所との共同主催による「中小企業経営者のための事業承継セミナー」を開催し、紀陽銀行のお取引企業の66名が参加されました。株式会社後継者BC研究所の代表取締役・大島康義氏を講師にお招きし、事業



承継への意識づくりと具体的な方法論についての講演を行い、参加者の皆さまからご好評をいただきました。

「和歌山労働局長優良賞」の受賞

10月18日、紀陽銀行は、厚生労働省主催による平成24年度均等・両立推進企業表彰の均等推進企業部門における、「和歌山労働局長優良賞」を受賞いたしました。同賞は、女性が能力を発揮できる環境づくりや、仕事と育児・介護の両立を支援する取り組みについて、規範となる企業に対して贈られるものです。今後も、すべての行員が能力を最大限に発揮できる職場環境の実現を目指してまいります。



受賞式

「地方銀行フードコレクション2012」の開催

10月23日、24日の2日間、東京ビッグサイトにて、紀陽銀行と地方銀行あわせて39行の合同主催により、地方の食品・食材の全国的な市場展開を目指す展示商談会「地方銀行フードコレクション2012」を開催いたしました。紀陽銀行のお取引先を含む食関連の企業620社が展示に参加され、流通、外食企業バイヤーも1万人以上が来場、活気あるビジネス・マッチングが行われました。



2012 **11**月 **Nov.**

向陽中学校からの職場見学

地域社会の繁栄に貢献するための活動の一環として、和歌山市内の中学校のキャリア教育をお手伝いしています。11月21日には、向陽中学校の生徒の皆さま8名が紀陽銀行を訪問され、本店営業部の見学とともに、銀行の仕組みや仕事のやりがい、社会貢献などについて行員と質疑応答を行いました。



また、これに先立つ10月30日には、桐蔭中学校において紀陽銀行の行員が講師となり「ビジネスマナーセミナー」を開催いたしました。

2012 12月 Dec.

再生可能エネルギー事業融資「紀陽エコビジネス」の取扱い開始

12月5日から、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を利用した発電事業に取り組まれるお客さまを対象としたローン「紀陽エコビジネス」の取扱いを開始いたしました。紀陽銀行の本部では、太陽光発電関連メーカーやコンサルタントのご紹介など、発電事業参入を検討されている事業者の皆さまへの支援体制を整え、地域経済の活性化と環境保全への貢献に努めております。

2013 1月 Jan.

和歌山高専「企業実践講座」での講義

1月16日、23日、30日の3日間、和歌山工業高等専門学校において、県内企業の現場責任者を講師とする「企業実践講座」が開催され、紀陽銀行行員2名が講師を務めました。和歌山県が実施する「産業人材育成支援事業」の一環として、企業が求める即戦力となる人材の育成を目指し、「現場の実践論」などをリレー形式で講義するものです。今回の講座では、企業の社会的責任や財務管理をテーマに、紀陽銀行の取り組み事例を紹介し、参加された約100名の学生の皆さまに高い関心を持っていただきました。



2013 2月 Feb.

近畿大学にて「合同企業説明会」の開催

2月7日、8日の2日間、紀陽銀行の提携先である近畿大学生物理工学部において、合同企業説明会が開催されました。紀陽銀行のお取引先企業も10社が参加され、学生の方々に向けて熱心な企業PRをされました。また、2012年12月15日には、和歌山工業高等専門学校で合同企業説明会を実施いたしました。毎年行われておりますこれらの企業説明会を通じて、今後も地元企業と学生の皆さまの出会いの場を提供してまいります。



2013 3月 Mar.

「わかやま医工連携セミナー」の開催

3月22日、ホテルグランヴィア和歌山にて、和歌山県立医科大学との共催による「わかやま医工連携セミナー」を開催いたしました。中小企業の医療機器分野参入の実例、医療現場での工業機器ニーズなどについて、工業、医療の現場に立つ方々を講師に招いての講演を行い、新規開拓をご検討の企業の皆さまに有意義な情報と交流の場をご提供いたしました。



CSR活動 ～環境への取り組み～

紀陽フィナンシャルグループでは、環境保全や地域の美化活動に積極的に取り組んでいます。

ISO14001認証取得

紀陽銀行では、平成13年3月に本店敷地内を対象としてISO14001の認証を取得し、また、紀陽フィナンシャルグループ全体としても環境に配慮した取り組みを行っております。

環境に関連した金融商品の取扱い

紀陽銀行では、ISO認証取得や新たに環境ビジネスに参入するなど環境に関連した運転資金や設備投資に対する融資、ソーラーローン、エコ車両購入向けのローンなどのお取扱いを行っております。



和歌山県「企業の森」事業

紀陽銀行では、環境保護活動への取り組みの一環として、和歌山県が森林の環境保全を目的として実施している「企業の森」事業に参画しています。平成18年4月より、和歌山県日高川町の「紀陽の森」において活動を開始、これまでに約3,300本の植樹を行いました。毎年、社内にてボランティアを募り、下草刈り活動を通じて森林の保全活動を行っております。



地域の環境美化活動への参加

紀陽銀行では、創立100周年を機に平成7年6月に「紀陽銀行小さな親切の会」を発足させ、同時に社団法人「小さな親切」運動本部に加入しました。毎年、同会の活動の一環として、各営業店エリアにおける清掃活動や地元の催し物へのボランティア参加、献血への協力などの活動を行っております。

今後も、これまで以上に地元のお客さまのお役に立てよう積極的に取り組み、地域づくりのお手伝いをしてまいります。



熊野古道の参詣道環境保全活動

和歌山県が誇る「世界遺産」熊野古道は、年間を通して雨量が多い地域にあり、台風などの被害にもたびたび見舞われています。紀陽銀行では、熊野古道参詣道の傷みを修復し、その価値を守り次代へ伝えていくためのボランティア活動を行っています。平成24年12月1日は、和歌山県世界遺産センター職員の方の立ち会いのもと、行員の参加により中辺路の道普請（土の補充）を実施いたしました。地域の環境価値と文化価値を守る活動に、一層力を注いでまいります。



環境にやさしい店舗づくり

紀陽銀行田辺支店では、内装に和歌山県産の檜を、ペンダント照明にはLEDを、浄化槽はペットボトルの廃材を利用したエコ製品を採用しております。また、屋上には太陽光パネルを設置し、年間13,168kwh(平成24年実績)の発電を行っております。これは、杉の木が1年間に吸収するCO₂の量に換算しますと約300本分に相当します。



世界遺産定期預金の取扱い

紀陽銀行では、平成26年7月に世界遺産登録10周年を迎える「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活動を支援するため「世界遺産定期預金」の取扱いを行っております。

お預入れいただいた金額の0.01%相当額を、和歌山県世界遺産協議会に寄付させていただき「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と活用を支援させていただくものです。

今後のお客さまの幅広いニーズにお応えする商品の開発やサービスの提供に努めてまいります。



エコ販促品の利用

紀陽銀行では、店頭などでお客さまにお渡しするPR用頒布品に環境に配慮した商品を導入しています。例えば、再生紙100%のポケットティッシュや、使用後にそのまま古紙回収に出せるアルミキッチンホイル、蛍光増白剤・柔軟剤および塩素系漂白剤を使用せず環境に配慮した生産工程で作られたタオルなどがあります。



CSRレポートを発刊しています

紀陽フィナンシャルグループでは、当グループのCSR(社会的責任)活動をより多くの方にご理解いただくために、「CSRレポート」を発刊しております。当グループの活動全体を紹介するとともに、営業店での独自の取り組みも紹介しております。本誌は紀陽銀行の各営業店および関連各社に設置していますので、ぜひご覧ください。



CSR活動 ～地域社会への取り組み～

紀陽フィナンシャルグループでは、様々な社会貢献活動に取り組んでおります。

一般財団法人 紀陽文化財団

芸術と文化を通じた豊かな地域社会づくりを目指す活動の一環として、平成7年より一般財団法人紀陽文化財団が開催している「紀陽コンサート」。平成25年1月27日には、第35回目を数え、創立50周年となるわが国のバロック音楽のパイオニア、テレマン室内オーケストラを迎えての演奏会を行いました。

また、和歌山県立近代美術館・博物館で開催される特別展をはじめとした展覧会に地域の皆さまをご招待しております。



スポーツを通じたCSR活動

■バスケットボールの子ども教室(クリニック)

紀陽フィナンシャルグループでは、平成23年4月に女子バスケットボール部「紀陽ハートビーツ」を新たに設立しました。紀陽ハートビーツは日々のトレーニングに加えて、地域の小中学生を対象としたバスケットボールの子ども教室を開催しております。

これからも、地元に愛されるチームとして活動を行ってまいります。



■「地元スポーツチーム応援定期」の取扱い

平成24年11月1日から25年2月15日まで、バレーボールVプレミアリーグに加盟する男子バレーボールチーム「堺ブレイザーズ(本拠地:大阪府堺市)」の応援定期のお取扱いを行い、地元スポーツチームを地域の皆さまとともにサポートしております。



各種大会への協賛・地域行事への参加

紀陽銀行は、「和歌山県綱引選手権大会」や少年野球大会、卓球大会などに協賛しております。また、「和歌浦ベイマラソンwithジャズ」の運営ボランティア派遣や和歌山市の夏の中心的なイベントの一つである「紀州おどり」への参加など、地域の各種イベントへの参加を通じ、地域の皆さまとの交流を深めております。



和歌山県綱引選手権大会



和歌浦ベイマラソン with ジャズ

障がいのあるお客さまへの対応

紀陽銀行では、目の不自由な方にも安心してご利用いただけるよう、すべてのATMに受話器型の音声案内装置を設置しています。また、平成23年3月から視覚障がいのあるお客さまのために、残高のお知らせや定期預金の満期ご案内、お取引明細などの点字通知サービスも行っています。

さらに、耳が不自由な方の利便性向上のため、全店で耳マーク表示板とコミュニケーションボードを設置しています。



音声案内装置



点字通知サービス

バリアフリーの取り組み

誰もがご利用になりやすい銀行を目指して、店舗でのバリアフリー化を推進しています。店頭への車いす配置や、車いす対応記帳台の設置、段差解消スロープや、点字ブロックの設置などのバリアフリー機能の導入店を拡大しています。



段差解消スロープと点字ブロックの設置

高校生を対象にした金融教育の実施

紀陽銀行では、金融教育の一環として金銭基礎教育授業「MoneyConnection®」へ協賛いたしました。すでに「MoneyConnection®」の公認実施団体として活動している特定非営利活動法人キャリア・ファシリテーター協会と協力し、高校生を対象にした認定講師による出張授業を行い、「働くこととお金」について学ぶ機会を提供してまいります。

当事業は、地域の公認実施団体と地域の銀行が協力して実施するのは全国初の取り組みです。

マネーコネクション

安心して暮らせる社会づくりに貢献

高齢化社会が進む中、紀陽銀行では、行員が認知症に対する理解を深めることによって、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる社会づくりに貢献できるように「認知症サポーター」の養成に努めています。

また、年齢・性別・国籍・障がいの有無にかかわらず、すべてのお客さまに公平なサービスと情報をご提供できるように、「ユニバーサルサービス」の実践研修を行っております。



認知症サポーター養成講座

非常用電源車の導入

紀陽銀行では、平成23年9月に紀伊半島に甚大な被害をもたらした台風12号の影響により一部の地域で停電を経験しました。その経験を踏まえ、突発的な停電に対してもお客さまに継続して金融サービスをご提供できるよう、24年4月に非常用電源車（発電機を設置した一体型車両）を和歌山市に1台配備しました。これからも災害に強い金融機関を目指し、お客さまが安心してお取引いただけるよう努力してまいります。



紀陽ホールディングス(連結)

※平成25年10月1日付 紀陽ホールディングスと紀陽銀行の合併を予定。

第8期末 連結貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

単位:百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	188,043	預金	3,532,474
コールローン及び買入手形	110,000	譲渡性預金	48,042
買入金銭債権	941	債券貸借取引受入担保金	73,918
商品有価証券	1,415	借入金	24,891
有価証券	984,649	外国為替	11
貸出金	2,575,933	社債	10,000
外国為替	2,103	その他負債	32,900
その他資産	28,738	退職給付引当金	31
有形固定資産	33,045	役員退職慰労引当金	32
無形固定資産	10,940	睡眠預金払戻損失引当金	732
繰延税金資産	5,592	偶発損失引当金	362
支払承諾見返	13,467	支払承諾	13,467
貸倒引当金	△ 27,401	負債の部合計	3,736,865
		(純資産の部)	
		資本金	58,350
		資本剰余金	47,947
		利益剰余金	61,165
		自己株式	△ 1,657
		株主資本合計	165,805
		その他有価証券評価差額金	22,514
		繰延ヘッジ損益	△ 134
		その他の包括利益累計額合計	22,379
		少数株主持分	2,418
		純資産の部合計	190,604
資産の部合計	3,927,469	負債及び純資産の部合計	3,927,469

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第8期 連結損益計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	87,206
資金運用収益	56,316
(うち貸出金利息)	(43,677)
(うち有価証券利息配当金)	(12,308)
役務取引等収益	11,307
その他業務収益	16,274
その他経常収益	3,308
経常費用	59,963
資金調達費用	5,513
(うち預金利息)	(4,243)
役務取引等費用	3,988
その他業務費用	5,688
営業経費	40,117
その他経常費用	4,655
経常利益	27,242
特別利益	2
特別損失	93
税金等調整前当期純利益	27,152
法人税、住民税及び事業税	1,683
法人税等調整額	7,189
法人税等合計	8,873
少数株主損益調整前当期純利益	18,279
少数株主利益	153
当期純利益	18,125

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結範囲および持分法の適用に関する事項

連結子会社は7社、持分法適用会社は0社であります。

連結子会社

- 株式会社紀陽銀行
- 紀陽リース・キャピタル株式会社
- 紀陽情報システム株式会社
- 株式会社紀陽カード
- 紀陽ビジネスサービス株式会社
- 株式会社紀陽カードディーシー
- 阪和信用保証株式会社

役員一覧(株式会社 紀陽ホールディングス)

(平成25年6月27日現在)

取締役社長(代表取締役)	片 山 博 臣	取締役	阪 本 彰 央	監査役(非常勤・社外監査役)	松 川 雅 典
専務取締役	泉 清 映	取締役(社外取締役)	水 野 八 朗	監査役(非常勤・社外監査役)	増 尾 穰
常務取締役	成 田 幸 夫	監査役(常勤)	樋 口 勝 二	監査役(非常勤・社外監査役)	大 平 勝 之
常務取締役	鈴 木 教 秀	監査役(常勤)	北 山 隆 一		

紀陽銀行(単体)

第203期末 貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

単位:百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	187,885	預金	3,540,089
コールローン	110,000	譲渡性預金	59,042
買入金銭債権	941	債券貸借取引受入担保金	73,918
商品有価証券	1,415	借入金	24,505
有価証券	986,431	外国為替	11
貸出金	2,582,839	社債	10,000
外国為替	2,103	その他負債	24,216
その他資産	15,533	役員退職慰労引当金	32
有形固定資産	33,516	睡眠預金払戻損失引当金	732
無形固定資産	6,083	偶発損失引当金	362
繰延税金資産	4,167	再評価に係る繰延税金負債	178
支払承諾見返	13,466	支払承諾	13,466
貸倒引当金	△ 24,076	負債の部合計	3,746,556
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	15,697
		資本準備金	259
		その他資本剰余金	15,437
		利益剰余金	55,460
		利益準備金	3,041
		その他利益剰余金	52,418
		繰越利益剰余金	52,418
		株主資本合計	151,254
		その他有価証券評価差額金	22,305
		繰延ヘッジ損益	△ 134
		土地再評価差額金	326
		評価・換算差額等合計	22,497
		純資産の部合計	173,751
資産の部合計	3,920,308	負債及び純資産の部合計	3,920,308

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第203期 損益計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	79,627
資金運用収益	56,201
(うち貸出金利息)	(43,616)
(うち有価証券利息配当金)	(12,256)
役務取引等収益	9,125
その他業務収益	11,726
その他経常収益	2,573
経常費用	51,875
資金調達費用	5,508
(うち預金利息)	(4,244)
役務取引等費用	4,798
その他業務費用	2,135
営業経費	36,241
その他経常費用	3,191
経常利益	27,751
特別利益	2
特別損失	65
税引前当期純利益	27,688
法人税、住民税及び事業税	1,431
法人税等調整額	6,964
法人税等合計	8,395
当期純利益	19,293

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員一覧(株式会社 紀陽銀行)

(平成25年6月27日現在)

取締役頭取(代表取締役)	片 山 博 臣	常務取締役	鈴 木 教 秀	監査役(常勤)	樋 口 勝 二
専務取締役	泉 清 映	常務取締役	島 慶 司	監査役(常勤)	北 山 隆 一
専務取締役	松 岡 靖 之	取締役	爲 岡 英 喜	監査役(非常勤・社外監査役)	松 川 雅 典
常務取締役	森 川 保 彦	取締役	今 村 裕 一	監査役(非常勤・社外監査役)	増 尾 穰
常務取締役	成 田 幸 夫	取締役	竹 中 義 人	監査役(非常勤・社外監査役)	大 平 勝 之
常務取締役	鈴 木 健次郎				

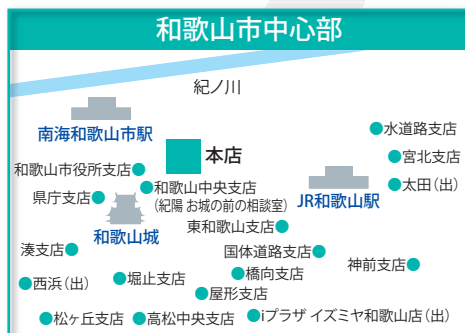
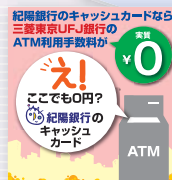
ネットワーク (平成25年3月31日現在)

紀陽銀行は、主要営業エリアである和歌山県、大阪府を中心に107店舗を設置し、両府県にまたがる店舗ネットワークを展開しております。

平成24年10月より紀陽銀行の個人のお客さまが三菱東京UFJ銀行ATMを利用した際の他行ATM利用手数料105円をキャッシュバックするサービスを取扱いしています。

また、南海、阪急、阪神、北大阪急行の各電鉄と神戸市営地下鉄の主要駅構内のATM「Patsat (パツとサツ)」でのお引き出し手数料が一定時間内無料となりました。

詳しくは紀陽銀行ホームページをご覧ください。



(出)：出張所

	店舗数	店舗外ATM
和歌山県	68	117
大阪府	36	44
奈良県	2	1
東京都	1	—
三重県	—	1
合計	107	163

(インターネット支店含む)

※このほか、資産運用に関するコンサルティングデスク「紀陽 お城の前の相談室」、インストアプランチ「i プラザ イミヤ和歌山店出張所」、外資両替専門の「関西国際空港出張所」、住宅ローンセンター(9か所)、ビジネスサポートセンター(本店内)を開設しております。



株式情報

(株式会社紀陽ホールディングス・平成25年3月31日現在)

■発行済株式総数

普通株式	745,017,053株
第4回第一種優先株式	23,000,000株

■株主総数

普通株式	23,193名
第4回第一種優先株式	1名
(株式会社整理回収機構)	

■配当方針

利益配分につきましては、銀行持株会社の公共性に鑑み、経営の健全性を確保するための適正な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を実現することを基本方針としています。

■株主名簿管理人

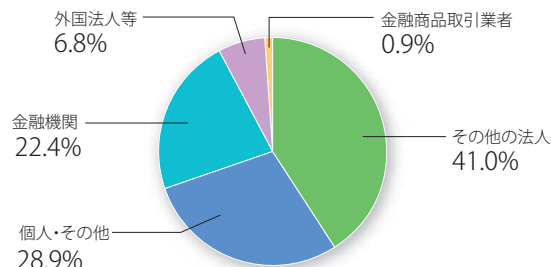
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

■株式事務取扱場所

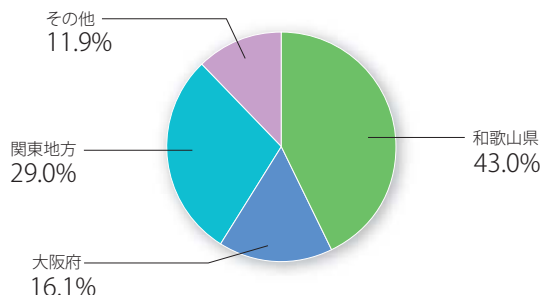
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話無料)

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

■所有者別株式分布 (平成25年3月末)



■地域別株式分布状況 (平成25年3月末)



株式に関する各種手続き

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更につきましては、口座開設されている証券会社（証券会社に口座開設されていない株主さまは、左記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部）へ届け出ください。

単元未満株式をお持ちの皆さまへ

1単元(1,000株)未満の株式を保有されている株主さまは、保有株式の買い取り請求または単元株への買い増し請求をしていただくことができます。詳細につきましては、左記〈株式事務取扱場所〉までお問い合わせください。

(追記) なお、お手続きに必要な書類等については、当社ホームページより左記株式事務取扱場所のホームページにお入りいただき、検索することができます。

〔紀陽フィナンシャルグループHP <http://www.kyfg.com/>〕



紀陽フィナンシャルグループは、2015紀の国わかやま国体・
紀の国わかやま大会を応援します。

KIYO

FINANCIAL GROUP

株式会社 紀陽ホールディングス

和歌山市本町1丁目35番地

<http://www.kyfg.com/>

株式会社 紀陽銀行

和歌山市本町1丁目35番地

<http://www.kiyobank.co.jp/>

平成25年6月発行
株式会社 紀陽ホールディングス
グループ企画部 広報・CSR推進グループ
〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地
TEL.073-426-5111

表紙写真：白良浜海水浴場

和歌山県が誇る白良浜海水浴場は、世界最大の旅行クチコミサイト「トリップアドバイザー」が発表した2013年日本のベストビーチにおいて第4位にランクされました。

本州にあるビーチとしては最上位となります。
是非とも、夏のリゾートにお越し下さい。